

アジアの子どもたちへの教育支援のための
JAFS チャリティー・チェロコンサート

KLAUS-DIETER BRANDT

クラウス-ディータ ブラント

演奏曲

バッハ：無伴奏チェロ組曲 1 番よりプレリュード（チェロ独奏）
ボッケリーニ：ソナタ イ長調より アダージョとアレグロ（チェロとコントラバス）
ピアッティ：歌劇ニオベ（チェロ独奏）
シューマン：幻想小曲集（全楽章）（チェロとピアノ）
スタジオジブリメドレー（アンサンブル＝合奏）
ふるさとの四季（アンサンブル）
ユーレイズミーアップ（アンサンブル）
アメイジンググレイス（アンサンブル）
そのほか、ピアノ、バイオリン、アルトサックスなど、
ゲスト演奏者によるソロ曲もお送りいたします。
（演奏曲は変更になる場合があります。）

2018年8月3日(金)

開場：18:30 開演：19:00

会場：日本キリスト教団久我山教会

東京都杉並区久我山 2-13-3 TEL. 03-3332-9661



主催：公益社団法人アジア協会 アジア友の会
JAFS 関東 活動委員会

チケット：（一般）前売 /3,000 円 当日 /3,500 円
（中高生）前売 /1,000 円 当日 /1,500 円 小学生以下無料

お申込み：TEL. 06-6444-0587 FAX. 06-6444-0581 ✉ jafskanto@gmail.com まで。

アジア協会アジア友の会（JAFS）は、1979年に活動を開始した、アジアに「命の水」を贈る民間国際協力援助団体（NGO）です。このコンサートの収益金は、アジアの子どもたちへの教育支援のために使わせていただきます。

Klaus-Dieter Brandt (クラウス-ディータ ブラント)

チェロ奏者。ドイツ、ザールブリュッケン生まれ。幼い頃よりチェロを Ulrich Voss 氏に師事。数々のコンクールで成績を残す。ケルン音楽大学で Claus Kanngiesser 氏に師事。ディプロムを取得。同音楽教育学科修了。奨学金を得てパリの Ilton Wjuniski 氏に師事、Diplôme supérieur de la Ville de Paris を取得。その後、ベルギーのルーヴェンにて Roel Dieltiens 氏に師事。モダンチェロ及びバロックチェロの研鑽を積んだ後、ソリストディプロムを取得。その後、ドイツフランクフルト音楽芸術大学にて歴史に基づく演奏慣習の研究に励む。Daniil Borissovitch Schafran 氏、János Starker 氏、Arto Noras 氏、Boris Pergamenschikow 氏、Klaus Störck 氏、Karine Georgian 氏のマスタークラスを受講。

Musica Antiqua Köln（ムジカアンティクワケルン）、L'arpa festante の首席チェロ奏者を務めた後、室内楽では Nils Mönkemeyer 氏、Albrecht Mayer 氏、Riccardo Minasi 氏等と共演。ソリストとしても多くの演奏会に出演する傍ら、後進の指導にも力を注いでいる。

ソロの CD も数多く、近年ではフェリックス・メンデルスゾーンのアナトリオを当時の楽器や演奏形態で演奏した完全版収録他、Heinrich Anton Hoffmann 作曲のデュオ、2014 年には Antonio Caldara, Giovanni Lorenzo Lulier, Carl Friedrich Abel, Christian Ernst Graf, Johann Benjamin Gross, Julius Rietz 作曲のチェロ協奏曲の世界初の録音、2015 年には Enrico Mainardi 作曲のチェロの独奏曲を CD リリース。

現在、Kölner Akademie（ケルナー アカデミー）並びに Wiener Akademie（ウィナー アカデミー）の首席チェロ奏者。歴史に基づく演奏慣習を再現する世界各地のオーケストラに招待される。